

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
410022	XY2410022	1	後期	国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
				情報文化学部情報文化学科	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科経営コース(26年度以降)	専門	必修	1年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26年度以降)	専門	必修	1年
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25年度)	専門	必修	1年
情報システム演習（A分野） 1年 J1	桑原 悟			情報文化学部情報システム学科情報コース(25年度)	専門	必修	1年
		情報文化学部情報システム学科(24年度以前)	×	×	×		
授業目的							
情報システム開発の受託者と発注者の両者が直接関与する情報システムの（超）上流工程について、手法を学ぶとともに実際に要求定義、外部（機能）設計の一部を作成することにより、具体的に情報システム開発の知識及びスキルを獲得する。 本授業は、以下のディプロマポリシーに関連する。 ＜情報システム学について理解し、情報システム領域の基本的な専門技術を修得していること。＞ ＜仕事の仕組みを系統的に考え、データを重視した論理的な判断ができること。＞							
各回毎の授業内容							
第 1 回 【授】SPI 模擬試験（ただし、2 年生後期の場合は、各研究室の説明会） 【前・後】授業前に 1 時間以上をかけて SPI に関して調査し、SPI 問題に取り組んでおくこと				第 9 回 【授】入力情報の分析－2 【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各 30 分以上			
第 2 回 【授】ビジネス要求、ビジネス要求仕様 【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各 30 分以上				第 1 0 回 【授】蓄積情報の分析－1 【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各 30 分以上			
第 3 回 【授】ビジネスフロー分析 【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各 30 分以上				第 1 1 回 【授】蓄積情報の分析－2 【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各 30 分以上			
第 4 回 【授】システム構造の理解と図式表現－1 【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各 30 分以上				第 1 2 回 【授】リレーショナルデータベース－1 【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各 30 分以上			
第 5 回 【授】システム構造の理解と図式表現－2 【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各 30 分以上				第 1 3 回 【授】リレーショナルデータベース－2 【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各 30 分以上			
第 6 回 【授】情報の流れの分析（DFD）－1 【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各 30 分以上				第 1 4 回 【授】総合演習－1 【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各 30 分以上			
第 7 回 【授】情報の流れの分析（DFD）－2 【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各 30 分以上				第 1 5 回 【授】総合演習－2 【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各 30 分以上			
第 8 回 【授】入力情報の分析－1 【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各 30 分以上				第 1 6 回 【授】実施しない			
成績評価方法							
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合（%）
定期試験							
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							
成果発表（口頭・実技）							
演習							
その他							
以下のように成績を算出する。 ・ 出席と演習課題取組状況及びレポート課題により評価する。 ・ 各回課題＋各回レポートを 1 0 0 点で評価。概ね次式のような考え方で評価点を計算する。 ・ $F（演習課題、レポート課題） = \sum（各回課題＋各回レポート） \div 15$ ＜フィードバック法＞ 授業中に課した課題、宿題について授業内で解答例を示す。							
教科書参考書							
第 1 回演習時にテキストを配布する。							
受講に当たっての留意事項							
欠席した回のレポートは、提出されても評価しない。							
学習到達目標							
情報システムを構築するとはどのような意味、作業があるかを理解する。 本演習によって獲得された知識・スキルにより単純化された情報システムの分析と設計の一部が行える							
JABEE							
関連する学習・教育到達目標：E							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
410022	XY2410022	1	後期	国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
				情報文化学部情報文化学科	×	×	×
情報システム演習（A分野） 1年 J2	高木 義和			情報文化学部情報システム学科経営コース(26年度以降)	専門	必修	1年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26年度以降)	専門	必修	1年
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25年度)	専門	必修	1年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(25年度)	専門	必修	1年
		情報文化学部情報システム学科(24年度以前)	×	×	×		
授業目的							
情報システム開発の受託者と発注者の両者が直接関与する情報システムの（超）上流工程について、手法を学ぶとともに実際に要求定義、外部（機能）設計の一部を作成することにより、具体的に情報システム開発の知識及びスキルを獲得する。 本授業は、以下のディプロマポリシーに関連する。 ＜情報システム学について理解し、情報システム領域の基本的な専門技術を修得していること。＞ ＜仕事の仕組みをシステムの考え、データを重視した論理的な判断ができること。＞							
各回毎の授業内容							
第 1 回 【授】SPI 模擬試験（ただし、2 年生後期の場合は、各研究室の説明会） 【前・後】授業前に 1 時間以上をかけて SPI に関して調査し、SPI 問題に取り組んでおくこと				第 9 回 【授】入力情報の分析－2 【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各 30 分以上			
第 2 回 【授】ビジネス要求、ビジネス要求仕様 【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各 30 分以上				第 1 0 回 【授】蓄積情報の分析－1 【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各 30 分以上			
第 3 回 【授】ビジネスフロー分析 【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各 30 分以上				第 1 1 回 【授】蓄積情報の分析－2 【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各 30 分以上			
第 4 回 【授】システム構造の理解と図式表現－1 【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各 30 分以上				第 1 2 回 【授】リレーショナルデータベース－1 【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各 30 分以上			
第 5 回 【授】システム構造の理解と図式表現－2 【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各 30 分以上				第 1 3 回 【授】リレーショナルデータベース－2 【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各 30 分以上			
第 6 回 【授】情報の流れの分析（DFD）－1 【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各 30 分以上				第 1 4 回 【授】総合演習－1 【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各 30 分以上			
第 7 回 【授】情報の流れの分析（DFD）－2 【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各 30 分以上				第 1 5 回 【授】総合演習－2 【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各 30 分以上			
第 8 回 【授】入力情報の分析－1 【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各 30 分以上				第 1 6 回 【授】実施しない			
成績評価方法							
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合（%）
定期試験							
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							
成果発表（口頭・実技）							
演習							
その他							
以下のように成績を算出する。 ・出席と演習課題取組状況及びレポート課題により評価する。 ・各回課題＋各回レポートを 1 0 0 点で評価。概ね次式のような考え方で評価点を計算する。 ・ $F（演習課題、レポート課題） = \sum（各回課題 + 各回レポート） \div 15$ ＜フィードバック法＞ 授業中に課した課題、宿題について授業内で解答例を示す。							
教科書参考書							
第 1 回演習時にテキストを配布する。							
受講に当たっての留意事項							
欠席した回のレポートは、提出されても評価しない。							
学習到達目標							
情報システムを構築するとはどのような意味、作業があるかを理解する。 本演習によって獲得された知識・スキルにより単純化された情報システムの分析と設計の一部が行える							
JABEE							
関連する学習・教育到達目標：E							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
410022	XY2410022	1	後期	国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
				情報文化学部情報文化学科	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科経営コース(26年度以降)	専門	必修	1年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26年度以降)	専門	必修	1年
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25年度)	専門	必修	1年
情報システム演習（A分野） 1年 J3	西山 茂			情報文化学部情報システム学科情報コース(25年度)	専門	必修	1年
				情報文化学部情報システム学科(24年度以前)	×	×	×
授業目的							
情報システム開発の受託者と発注者の両者が直接関与する情報システムの（超）上流工程について、手法を学ぶとともに実際に要求定義、外部（機能）設計の一部を作成することにより、具体的に情報システム開発の知識及びスキルを獲得する。 本授業は、以下のディプロマポリシーに関連する。 ＜情報システム学について理解し、情報システム領域の基本的な専門技術を修得していること。＞ ＜仕事の仕組みをシステムの考え、データを重視した論理的な判断ができること。＞							
各回毎の授業内容							
第 1 回 【授】SPI 模擬試験（ただし、2 年生後期の場合は、各研究室の説明会） 【前・後】授業前に 1 時間以上をかけて SPI に関して調査し、SPI 問題に取り組んでおくこと				第 9 回 【授】入力情報の分析－2 【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各 30 分以上			
第 2 回 【授】ビジネス要求、ビジネス要求仕様 【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各 30 分以上				第 1 0 回 【授】蓄積情報の分析－1 【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各 30 分以上			
第 3 回 【授】ビジネスフロー分析 【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各 30 分以上				第 1 1 回 【授】蓄積情報の分析－2 【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各 30 分以上			
第 4 回 【授】システム構造の理解と図式表現－1 【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各 30 分以上				第 1 2 回 【授】リレーショナルデータベース－1 【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各 30 分以上			
第 5 回 【授】システム構造の理解と図式表現－2 【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各 30 分以上				第 1 3 回 【授】リレーショナルデータベース－2 【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各 30 分以上			
第 6 回 【授】情報の流れの分析（DFD）－1 【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各 30 分以上				第 1 4 回 【授】総合演習－1 【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各 30 分以上			
第 7 回 【授】情報の流れの分析（DFD）－2 【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各 30 分以上				第 1 5 回 【授】総合演習－2 【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各 30 分以上			
第 8 回 【授】入力情報の分析－1 【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各 30 分以上				第 1 6 回 【授】実施しない			
成績評価方法							
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							
成果発表（口頭・実技）							
演習							
その他							
以下のように成績を算出する。 ・ 出席と演習課題取組状況及びレポート課題により評価する。 ・ 各回課題＋各回レポートを 1 0 0 点で評価。概ね次式のような考え方で評価点を計算する。 ・ $F（演習課題、レポート課題） = \sum（各回課題＋各回レポート） \div 15$ ＜フィードバック法＞ 授業中に課した課題、宿題について授業内で解答例を示す。							
教科書参考書							
第 1 回演習時にテキストを配布する。							
受講に当たっての留意事項							
欠席した回のレポートは、提出されても評価しない。							
学習到達目標							
情報システムを構築するとはどのような意味、作業があるかを理解する。 本演習によって獲得された知識・スキルにより単純化された情報システムの分析と設計の一部が行える							
JABEE							
関連する学習・教育到達目標：E							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習